



神戸大学山岳会・山岳部について The Alpine Club of Kobe University

Since 1915

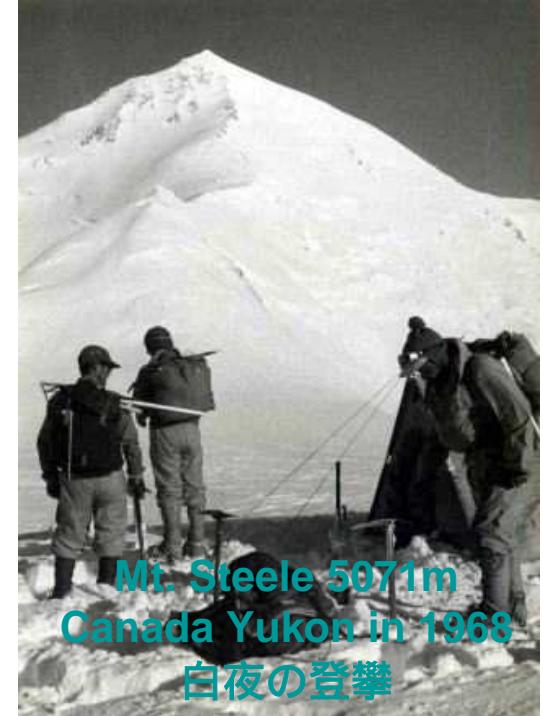
Sherpi Kangri 7380m from TBC 4850m near 2nd Ice Fall, 1976)

神戸大学山岳会について

- ・ 神戸大学山岳会は神戸大学山岳部の卒業生ならびに関係者にて構成された団体です。
- ・ 山岳部の歴史は古く1915年に神戸高商山岳部として発足、1958年パタゴニア探検隊アレナレス峰初登頂、1976年カラコルム遠征隊シェルピカンリ7380m初登頂、1986年チベット学術遠征隊ク - ラカンリ7554m初登頂、など遠征の足跡を世界の各地に残して今日に至っています。
- ・ 未知への挑戦を現在も求めて次なる目標を求めて活動を続けています。

海外遠征の歴史

- 1915 神戸高商山岳会発足
- 1934 第一次台湾遠征 隊長田中薰
- 1936 第二次台湾遠征 隊長田中薰
- 1958 パタゴニア探検隊アレナレス峰3437m初登頂
 隊長田中薰 副隊長高木正孝
- 1960 刃中央アンテス探検隊神戸峰初登頂隊長太田直之
- 1963 台湾山岳学術調査隊 玉山 隊長田中薰
- 1963 ホリビア・アンテス探検隊 隊長金井健二
- 1968 カナダ・ユ-コン学術登山隊 隊長中西哲
- 1970 アタカマ高地探検隊 金井良碩参加
- 1974 第一次カラコルム遠征隊 隊長 田中俊甫
- 1976 第二次カラコルム遠征隊シェルピ・カンリ峰7380m初登頂 隊長平井一正
- 1980 リモ山群偵察隊,隊長中川勝八郎,右田卓遭難死
- 1983 ネパール・ヒマラヤ合宿 リタ-長谷川浩
- 1985 チベット学術登山隊ク-ラ・カンリ偵察隊 隊長緒方俊二
- 1986 チベット学術登山隊ク-ラ・カンリ峰7554m初登頂 隊長平井一正
- 1988 神戸大学中国地質大学(武漢)合同登山隊チャル-山6168m初登頂 隊長北口博教
- 1991 京都大学梅里雪山遠征 船原尚武参加、遭難死
- 2002 カンリガルホ山群ルオニイ峰6882m偵察隊隊長北口博教
- 2003 カンリガルホ山群ルオニイ峰登山隊(敗退)隊長平井一正
- 2007 カンリガルホ山群アタ氷河偵察隊・隊長山田健
- 2009 神戸大学・中国地質大学(武漢)合同カンリガルホ山群学術登山隊
 ロプチン峰Lopchin Feng (KG-2, 6805m)初登頂・隊長井上達男



Mt. Steele 5071m
Canada Yukon in 1968
白夜の登攀

未踏峰の初登頂

| | | | |
|-------|---|--|---|
| 1958年 | <p>パタゴニア探検隊 隊長: 田中 薫 Patagonia Expedition led by Kaoru Tanaka</p> | <p>アレナレス峰Cerro Arenales 3437m初登頂 高木正孝副隊長、円満字正和他が登頂。 The first ascent of Cerro Arenales 3437m</p> |  |
| 1960年 | <p>チリ中央アンデス探検隊 隊長: 太田 直之 Cilli Andes Expedition led by Naoyuki Ohta</p> | <p>神戸峰Cerro Kobe 5008m初登頂 2月12日 豊田寿夫 クルト・クラウセン(Kurt Claussen)の二人は南西にあるクエルノ・ブランコ(Cuerno Blanco)5030m登頂後処女峰であるCerro Kobeを目指して登頂、ビバ - ク後帰還した The first ascent of Cerro Kobe 5008m</p> |  |
| 1976年 | <p>第二次カラコルム遠征隊 隊長: 平井 一正 2nd Karakoram Expedition led by Kazumasa Hirai</p> | <p>シェルピ・カンリSherpi Kangri 7380m 初登頂 8月10日 西稜6750mのACを出発した緒方俊治・井上達男の二人はキャンプ頭上の岩壁を突破し順調に高度を稼いで山頂に立った The first ascent of Sherpi kangri 7380m</p> |  |

未踏峰の初登頂

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 1986年 | <p>チベット学術登山隊 隊長:平井 一正 Tibet Scientific and Mountaineering Expedition led by Kazumasa Hirai</p> | <p>ク - ラ・カンリKula Kangri 7554m 初登頂 4月21日 居谷千春・坂本淳・尾崎久純・大谷映芳の4人が頂上に立った。 翌4月22日、森長敬・長谷川浩が引き続き登頂 The first ascent of Kula Kangri 7554m</p> |  |
| 1988年 | <p>神戸大学・中国地質大学(武漢) 合同登山隊 隊長:北口 博教 Kobe Univ. and China Univ of Geosciences(Wuhan) Joint Expedition led by Hirokazu Kitaguchi</p> | <p>雀児山(チエル - 山)Que-er shan 6168m 初登頂 The first ascent of Mt. Que-er Shan 6168m 日中隊員多数が登頂</p> |  |
| 2009年 | <p>神戸大学・中国地質大学(武漢) 合同 カンリガルポ山群学術登山隊 隊長: 井上達男 中国側隊長:董範 Kobe Univ. and China Univ of Geosciences(Wuhan) Joint Kangri Garpo Mtns. .Scientific and Mountaineering Expedition led by Tatsuo Inoue & Dong Fan</p> | <p>ロプチン峰Lopchin Feng (KG-2) 6805m初登頂 11月5日、7日、徳慶欧珠、次仁旦塔、矢崎雅則、近藤昂一郎が登頂 The first ascent of Lopchin Feng, Tibet, China Nov 5th and 7th ,Deqing Ouzhu, Ciren Danda, Masanori Yazaki and Koichiro Kondou made the summit climbing</p> |  |

歴代山岳部部長・山岳会会长

| | | |
|------|--------|------------------------|
| 1929 | 山岳部部長 | 平井泰太郎 |
| 1943 | 山岳部部長 | 川上太郎 |
| 1953 | 山岳部部長 | 高木正孝 |
| 1954 | 山岳会創設 | 山岳会会长 田中薰 |
| 1962 | 山岳部部長 | 川上太郎(高木部長逝去) 山岳会会长 小橋馨 |
| 1965 | 山岳部副部長 | 中西哲、山岳部副部長 平井一正 |
| 1966 | 山岳部部長 | 西村勝比古 |
| 1974 | 山岳会会长 | 田中薰 (小橋会長逝去) |
| 1977 | 山岳部部長 | 中西哲 |
| 1981 | 山岳会会长 | 円満字正和 |
| 1986 | 山岳部部長 | 平井一正 |
| 1989 | 山岳部副部長 | 北口博教 顧問 横山千秋 |
| 1995 | 山岳部部長 | 乙藤洋一郎* |
| 1996 | 山岳会会长 | 平井一正 |
| 2006 | 山岳会会长 | 井上達男* |
| 2009 | 山岳部副部長 | 山形裕士* |

* 現体制

神戸大学 過去の遭難 (死亡事故)

| | |
|-------------------|---|
| (1) 1950年4月3日 | 八巻 建彦(やまきたけひこ) (神戸大学神戸工専山岳部) |
| | 燕岳より槍ヶ岳へのポーラー展開中、赤岩岳付近で雪崩により二の俣谷へ流される。詠村隆(えいむらたかし、灘高山岳部)も死去 |
| (2) 1953年8月8日 | 中川 健治 |
| | 夏合宿中、北岳バットレス第二尾根で滑落後麻ザイル切断のため転落 |
| (3) 1956年4月4日 | 下津実 |
| | 北鎌尾根より穂高へのポーラー撤収中、北鎌尾根末端付近で天上沢へ滑落 |
| (4) 1956年12月22日 | 岸本 卯三郎(うさぶろう) |
| | 前穂北尾根4峰正面壁冬季初登攀を目指した。奥又白谷を登行中、松高ルンゼからの雪崩に埋没(同パーティ大阪府大 裏野満も死去) |
| (5) 1958年3月28日 | 青木 秀哉(ひでや)、山内 純二(やまのうち) |
| | 春合宿中、北穂滝谷クラック尾根登攀中転落(ナイロンザイル切断) |
| (6) 1966年3月24日 | 石川匡(ただし) |
| | 春合宿中、双六岳より槍ヶ岳アタック中、西鎌尾根より水鉛谷へ滑落 |
| (7) 1980年8月6日 | 右田卓(たかし) |
| | 東部カラコルム リモ峰偵察中、ロロフォンド氷河にてヒドンクレバスに転落 |
| (8) 1988年11月26日 | 天野 弘善(ひろよし) |
| | アイゼン合宿中、御岳三の池にて、猛烈な風雪のため避難中の雪洞で埋没 |
| (9) 1991年1月3日or4日 | 船原 尚武(しょうぶ) |
| | 中国雲南省梅里雪山の初登頂を目指していた京都学士山岳会登山隊に参加、C3にて夜中、雪崩に埋没(同時に17名遭難) |

Safe Climbing

Safety is a value!!